

大会報告 スキーオリエンテーリング J-CUP

2000 年 2 月 19 日 - 20 日

報告者 木村佳司

毎年、行われているスキーオリエンテーリングの J-CUP。今年は 2 月 19 日 - 20 日に山形県真室川町で開催された。真室川町はクロスカントリースキーが盛んな町で多くの有名な選手が輩出していることでも有名だ。



J-cup を走る 関清 (小千谷スキークラブ)

スキーOについて

ここでスキーオリエンテーリングを知らない人に簡単にスキーオリエンテーリングの紹介をしておこう。

略してスキーOと呼ばれるこの競技のルーツはフットOと同じくスカンジナビアにある。世界最初にオリエンテーリング大会が開催されたのは 1897 年とされているが、これはクロスカントリースキーによるオリエンテーリング、つまりスキーOだったと聞いている。地図を持って森を行く・・・これをスカンジナビアで夏に行えばフットOになるし、冬に行えばスキーOになるわけである。

スキーはもともと冬の生活移動手段として北欧で生まれた。北欧でスキーと言えば当然クロスカントリースキーである。北欧のスキーがヨーロッパアルプス用に改良され、スポーツ用に下ることのみを主体として作られたのが現在のアルペンスキーである。

さて、クロスカントリースキーではポール(ストック)を手持つので、フットOのように手に地図を持っていたのでは不便である。そこでマップケースを体の前に取り付けてそこに地図を入れて読む。マップケースは水平方向に回転するようにできており、地図の正置ができるようになっている。ただし手が使えないのでコンパス直

進はできない。

スキーで新雪の上を進むと、最初に通る人は苦勞を要する。ところが続く人はシュプールが残るので方向決定を手抜きすることが出来たり、跡を辿ることによって楽に進むことができた。これでは公平な競技にならないため、通常、スキーO大会においては事前に雪上に小径を無数に作っておく。これはトラックと呼ばれるもので、通常はスノーモービルを使用して作成する。

またコースの主要な部分では雪上車を導入して、幅の広いトラックを作成する。クロスカントリースキーが盛んな場所では雪上車を利用した常設コース整備が行われているので、これを利用するのが一般的である。

参加者が目標とするコントロールはこうしたトラックの途中にある。フットのように尾根や沢といった場所に設置されるのではない。

大会の様子

今年は雪が少ない日々が続いたが、大会直前に大雪が降り結果的に十分な積雪があった。しかも大会当日の天気はそれほど荒れておらず、非常に良いコンディションで参加者は大満足だった。

ただ、今年の J-cup は関東地区のビッグ大会と日程が重なり、参加者はやや少な目となってしまったのが残念だった。

しかしスキーO世界選手権にこれから向かう選手の参加や、地元の高校生の参加、またオリエンテーリング愛好家達のスキー技術の上達もあり、全体的にレベルの高い競技会になった。筆者の木村は以前のスキーO大会のレベルならそこそこの成績が取れていたものだが、今回は皆さんのレベルアップに置いて行かれた感がある。

今回のテレインは、秋山牧場を中心とした丘陵地。ここには冬の間はクロスカントリースキーの常設コースが整備されており誰でも手軽にクロスカントリースキーを楽しむことができる。今回のスキーO大会はこの常設クロスカントリースキーコースを中心に、その周囲にスノーモービルでトラックネットワークを作り、スキーオリエンテーリングのフィールドを作成していた。

2 日間とも思っていたより雪温が高く、ワックスの選定には苦勞していたようだった。スキーOの場合スキーワックスの設定がそのままタイムに影響するため、上位を狙う選手にとってワックス選びも実力のうちである。

大会は 1 日目にショートディスタンスが開催され、2 日目はリレーが行われた。主催者の武石氏によると、今回の J-cup で言う「ショート」は世界レベルで「ショート」ということである。世界レベルではスキーOは男子ショートで 10km、男子ロングは 25km 程度のコースとなる。リレーは 3 人組のチームによるリレーとワンマンリレーとが行われた。

2月19日に行われたショートディスタンスでは男子は幸山が女子は酒井が連覇を果たした。

2月20日のワンマンリレーでは、2周目までベテランの関清がリードしていたが、3周目で丸山哲史が抜き、トップに立った。チームリレーは「つむ恋レーシング」が「OLP 兵庫」に圧勝した。

対決が期待された「浪速包丁恋月夜」と「トチノスケ」は残念ながらチームが崩壊したりクラス変更などにより対決が実現しなかった。3月20日の長野県菅平高原でのスキーO大会では各チームの対抗戦も行われるらしいので期待したい。

この大会を仕上げとして、丸山、関、若井、植野の3選手はスキーOの世界選手権のためロシアへ向った。

運営について

今回参加者はやや少なかったものの、運営に手抜きはない。このJ-cup はいつもクオリティの高いコースと地図、コンディションを提供している。

真室川町の常設コースという、スキーOに適した場所ではあるが、トラックを付けるスノーモービルは大忙しである。またコンディションに対してコースの臨機応変で対応してゆく。ここで活躍するのがコンピュータマップピングだ。

こうした運営者の努力によって質の高いスキーO大会

が開催されている。一度スキーOを体験してみるとその不思議な魅力にあなたも気づくだろう。

スキーオリエンテーリング真室川大会成績

ショートディスタンス 2000年2月19日(土)

ME

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1 幸山敏克 | つむエレーシング | 1:02:13 |
| 2 丸山哲史 | 館林 OLC | 1:03:50 |
| 3 宗形竜憲 | 二本松 OLC | 1:07:53 |

WE

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 酒井佳子 | 札幌農学校 | 1:05:15 |
| 2 植野由香 | 北海道教育大 | 1:07:54 |

ワンマンリレー

2000年2月20日(日)

ME

- | | |
|------|---------|
| 丸山哲史 | 1:26:47 |
| 関清 | 1:29:27 |
| 山田一善 | 2:00:37 |

リレー 2000年2月20日(日)

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1 つむ恋レーシング | 安達・玉木・幸山 | 1:49:15 |
| 2 OLP 兵庫 | 山本・内山・川崎 | 2:16:34 |

